

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（４月）

三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稻

（１）生育の状況

管内のは種作業の始め（進ちょく率５％）は４月１１日で、平年より１日早い。

表１ 管内は種進捗状況

	本年	平年
は種始（５％）	４月１１日	４月１２日
は種盛期（５０％）	—	４月１６日
は種終（９５％）	—	４月２２日

（２）今後の対策等

適正な温度・水分・肥培管理を徹底する。

効果的な水管理をするため、畦畔のかさ上げ・補強・整備を行う。

2 小麦

（１）生育の状況

４月１０日現在の生育状況は、草丈は平年より５ｃｍ長く、㎡当たり茎数は平年より２２４本多かった。

幼穂形成期は３月１８日で、平年より１３日早かった。

表２ 小麦生育調査結果（４月１０日現在） 品種：ネバリゴシ

場所		は種日 (月・日)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	幼穂形成期 (月・日)
八戸市 市川町	本年	10月2日	22	1,063	3月18日
	前年	10月7日	12	677	4月7日
	平年	9月29日	17	839	3月31日

※ 平年はH26～R4の平均値

（２）今後の対策等

適期の病虫害防除及び追肥に努める。

II 野菜

1 ながいも

（１）生育の状況

春掘の収穫作業は３月６日頃から始まり、降雨等により作業が中断する期間が少なかったため、４月１０日時点の収穫作業は順調に推移している。

（２）今後の対策・指導等

地温上昇による芽の動き出しや、スポンジ症等による品質低下を軽減するため、４月末を目途に掘取りを終了する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

7月上旬出荷の作型は、例年並の3月15日頃から定植作業が始まっており、その後の定植作業も順調に進んでいる。

(2) 今後の対策等

計画的に定植作業を行う。また、4月下旬から5月にかけては、風が強く、乾燥しやすい時期となるため、不織布での被覆などによる防風対策や定期的にかん水を行う。

3 にんにく

(1) 生育の状況

草丈、葉数は、平年並～平年を大幅に上回っている。りん片分化期は平年より10～12日早まっている。病害では、さび病の発生が見られる。

表3 生育調査結果（4月10日現在）

場所	年次	品種系統	植付日	マルチ	りん片 分化期	草丈(cm)	生葉数(枚)	茎径(mm)
五戸 (上兎内)	本年	白玉王	10月1日	グリーン	4月9日	44.8	5.7	15.8
	平年比		—	—	11日早	136%	123%	—
	*平年		9月29日	—	4月20日	32.8	4.6	—
	*前年	白玉王	9月28日	グリーン	4月17日	41.1	5.2	13.1
旧倉石 (又重)	本年	在来種	9月26日	グリーン	4月10日	47.4	5.3	15.7
	平年比		—	—	11日早	148%	117%	—
	平年		10月1日	—	4月21日	32.1	4.5	—
	前年	在来種	9月28日	グリーン	4月18日	35.7	5.1	13.4
新郷 (扇ノ沢)	本年	福地ホワイト	10月6日	グリーン無穴	4月11日	38.5	4.6	13.8
	平年比		—	—	10日早	131%	108%	—
	平年		10月4日	—	4月21日	29.5	4.3	—
	前年	在来種	9月30日	グリーン無穴	4月19日	36.0	4.6	13.4
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	10月2日	グリーン	4月10日	45.1	6.4	14.6
	平年比		—	—	12日早	177%	152%	—
	平年		10月6日	—	4月22日	25.5	4.2	—
	前年	白玉王	9月28日	グリーン	4月19日	36.3	4.9	13.4

※平年値について（五戸はR3から調査地点変更）

五戸：H13年～R4年までの過去22年間の平均値（参考値）

旧倉石：H16年～R4年までの過去19年間の平均値

新郷：H16年～R4年までの過去19年間の平均値

田子：H14年～R4年までの過去21年間の平均値

表4 病害等発生状況調査結果（4月10日現在）

場所	春腐病	さび病	欠株	二本立ち
五戸	0%	7%	0%	1%
旧倉石	0%	1%	0%	5%
新郷	0%	0%	0%	3%
田子	0%	3%	7%	0%

(2) 今後の対策等

明きよの手直しをするなど排水対策を徹底する。葉先枯れ症状が見られたり、葉色が淡いほ場では、病害防除と併せて、葉面散布剤を活用して生育促進に努める。病害は、降雨前の薬剤散布を徹底する。特に、さび病が発生しているほ場では、散布ムラに留意し、下葉に付着するよう散布する。

4 いちご

(1) 生育の状況

「とちおとめ」は、草高は40.1cm（平年比120%）と平年をかなり上回っている。観測しているハウスでは、現在、開花～着果中である。

「よつぼし」は、草高は28.4cm（平年比126%）と平年をかなり上回っている。観測しているハウスでは、現在、着果～収穫中である。病虫害は、オンシツコナジラミの発生が見られる。

表5 生育調査結果(令和5年4月11日現在)

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)
とちおとめ	本年 (平年比)	8月26日 (3日遅い)	40.1 (120%)	29.4 (127%)	9.1 (98%)	7.1 (99%)
	平年	8月23日	33.5	23.1	9.3	7.2
	前年	8月23日	42.5	30.8	11.2	9.3
よつぼし	本年 (平年比)	9月3日 (4日遅い)	28.4 (126%)	19.7 (128%)	7.2 (106%)	5.8 105%
	平年	8月30日	22.6	15.4	6.8	5.6
	前年	8月26日	22.0	15.5	6.5	5.2

※定植日：とちおとめ 8/26、よつぼし 9/3

平 年：「とちおとめ」平成17～令和3年

（但し、定植日については平成28年～令和3年の6か年平均）

「よつぼし」平成30～令和3年

(2) 今後の対策等

適正な温度管理を行う。

本ぽでのうどんこ病やハダニ類、育苗ほにおける炭そ病の防除を徹底する。